



街中がキャンパス！！

キラリと光る大学活動応援プロジェクト

～令和6年度東海市大学連携まちづくり推進事業が決定しました～

「大学の教育・研究活動」や「学生の活力」を生かした地域課題の解決や地域の活性化を図るとともに、地域社会との関わりの中で得られる学生の学びと成長の機会を創出するため、市内にある星城大学（富貴ノ台）と日本福祉大学（大田町）の2大学に在籍する教員又は学生が行う、下記のまちづくり事業について補助を行い、大学と連携したまちづくりを進めます。

■補助採択事業

多文化共生、SDGsなどがテーマの13事業（応募13事業）

詳しくは別紙のとおりです。

■その他

東海市大学連携まちづくり推進事業は、平成29年（2017年）から継続して実施しており、今年で8年目となります。今まで実施した事業は、合計で82事業にのぼり大学による地域の活性化に取り組んでいただいています。

また、そのほかにも市内2大学とは図書館等大学施設の一般開放や、自然災害等発生時の大学施設の利用など、様々な場面で連携を進めています。

問合せ	企画部企画政策課 担当：稲葉（いなば）、鶴見（つるみ） 052-603-2211、0562-33-1111（内線 373、374）
-----	---

NO	事業名	新規 継続	事業概要	実施 主体	申請者
1	星城スポーツ子ども広場	継続	東海市民のスポーツ振興に貢献することを目的として、地域との交流ができるスポーツイベントを開催する。 幼少期から身体を動かせる場所を提供するだけでなく、学生スタッフのサポートを受けられることで、子どもたちが伸び伸びと楽しくスポーツに触れあえることが期待できる。また、地域住民を対象とした実践の場として、学生にとっての教育としても活用できる。	教員	星城大学 スポーツマネジメント分野 北田 友治
2	楽しく学べる♪ドローンプログラミング教室	継続	子どもの興味関心や親子とのコミュニケーション、ドローンプログラミングを通じて楽しく学ぶこと及びインフラとして定着が想定されるドローンの正しい知識の普及を目的として、子ども向けドローン教室を開催することで、小学校では学ぶ機会の少ないドローンやプログラミングの経験ができる場を創出できる。	教員	ドローン研究会 野場 惇平
3	星城大学留学生による文化講座開催事業	継続	東海市民の多文化共生意識を高め、誰もが住みやすいまちづくりに寄与すること及び星城大学留学生の東海市への帰属意識を高め、将来の東海市での就職や定住を促進することを目的として、星城大学留学生別科及び経営学部留学生が東海市民に自国の文化、習慣、言語を紹介する講座を開催する。	教員	星城大学 留学生別科 林 エミ
4	心と体の発達のための乗馬体験	継続	子どもたちの心身の健康の保持増進を図ること及び乗馬療育についての認識を広めることを目的として、東海市内の小中学生を対象に大池公園にて「乗馬療育」を実施し、市内児童の心と体の健康増進に繋げるもの。	教員	星城大学 作業療法専攻 林原 千夏
5	人生100年時代！目の健康を守ろう	新規	目の疾患について理解を深め、目の健康について意識を高めることを目的として、東海市内の高齢者を対象に失明の原因となりやすい目の疾患について講演会を開催し、早期発見や予防を促すことや視力低下に伴う外出機会の減少、活動意欲の低下を防ぐことが期待できる。	教員	星城大学 西田 崇人
6	SDGsにつながる東海市の魅力発信事業	継続	自分事としてSDGsに貢献できるような行動を促進するため、企業・NPO・市民等へのインタビューや新聞の作成、理解促進のためのツールの試作、東海市版ローカルSDGsの作成、市内各種イベントでのブース出展と展示等を通じて、市民に対して共感をもってSDGsの意義と役割をPRする。	教員	日本福祉大学 千頭ゼミ 千頭 聡
7	東海市イングリッシュ・サロン	継続	地域の子どもたちが英語に慣れ親しみ、コミュニケーションを楽しみながら学ぶ意欲を高めるとともに、地域の方々や学生、教員など多世代交流の促進を図るために、大学生をファシリテーターとした子どもたちが取り組みやすい英語の歌やゲームなどのアクティビティを行うなど、小学生から大学生、そして地域の方々との協働によるイングリッシュ・サロンを開催する。	教員	日本福祉大学 国際学部 米津ゼミ 米津 明彦
8	地域日本語教育ボランティアを対象とした研修会の開催	継続	東海市国際交流協会と連携し、市内在住の外国人を対象とした日本語教室において、ボランティアの間で問題となっていることをヒアリング調査し、その問題を解決に導くための研修会を開催する。	教員	日本福祉大学 国際学部 田中 真由美
9	大規模自然災害に備えよう！キャンプのノウハウを活かした「防災キャンプ」で被災後の生活に必要な知識や技術を学ぶ	継続	防災キャンプのアクティビティを取り入れながら、市民が被災後の生活のQOLを維持、向上する知識、技術を得ることや、減災に対する能動的な姿勢を醸成することを目的として、「女子ソロキャンプ」や「親子キャンプ」等の講習を行い、意識調査や減災講習、リーフレットの作成等を行う。	教員	日本福祉大学 災害ボランティアセンター 高村 秀史
10	シニアe-Sportsクラブ	新規	シニア世代がe-Sportsに継続的に取り組むことによるフレイル予防効果と世代を超えて楽しめるe-Sportsの特性によるコミュニケーションの広がりを目的として、e-Sportsの紹介や指導、対戦機会を提供するイベントを開催する。	教員	日本福祉大学 e-Sportsクラブ 大場 和久
11	カレーで東海市の野菜を味わおう！	新規	市民に東海市の農業や農作物に興味関心及び親しみをもってもらうことを目的として、農業の実態や農作物についてSNSでの発信、朝市やにっこり市の活性化を目指した展示や交流企画、東海市産の野菜をふんだんに使ったカレーを市民にふるまうイベントを実施する。	学生	日本福祉大学 経済学部 吉田ゼミ 狩俣 峻暉
12	東海市の果物の魅力をお届けします！	新規	市民に東海市の果樹園農家の果物や加工品に興味関心をもってもらうこと及び魅力を知ってもらうことを目的として、市内果樹園の訪問取材や農業体験の実施、SNSでの情報発信、果樹園紹介マップの作成や配布、東海市産果物の魅力を伝えるイベントを開催する。	学生	日本福祉大学 経済学部 吉田ゼミ 早川 昂輝
13	東海市役所周辺における木質化を生かしたまちづくりプロジェクト	継続	市民等多くの者の目に触れる箇所を木質化することにより、木材利用が図られたまちづくりを促進し、木質化に関する意識向上を図ることを目的として、昨年度実施したバス停の木質化手法を生かし、他のバス停の木質化を図るとともに建物内に可動式パーテーションの試作機を設置する。	教員	日本福祉大学建築・バリアフリー専修 坂口大史研究室 坂口 大史